

混相流数値シミュレーション

大阪大学 大学院基礎工学研究科 氏名 杉山 和靖

- 目的 混相流のソフトウェア開発を行う。二相界面をシャープに捕捉し、表面張力による垂直応力の跳躍を精度良く予測する方法を主な課題とする。
- 内容 現有のVOF法/MTHINC法に基づく気液二相流コードの開発、動作確認を行なってきた。
- 結果 これまで、VOF法/MTHINC法に基づき気液二相流を数値予測するMPI並列版コードの整備し、SX-ACEで動作することを確認してきた。当該年度は、SX-ACEを使用してのプロダクトランを行っておらず、有意な結果を得ていない。

利用した計算機 SX-ACE